

ひろさき認知症あんしん生活実践塾(4期生)症状と経過

症状数 (合計)	症状の改善(内訳)				
	消失	ほとんど改善	中等度改善	一部改善	変化なし
19	11	4	2	1	1
100%	58%	21%	11%	5%	5%

No.	参加者	実践対象者					症状の改善				
		年齢	性別	要介護度	症 状	消失	殆ど消失	中等度消失	一部消失	変化なし	
1	参加者 Aさん 施設職員	83	女	要介護 2	①食事・水分を摂ろうとしない	○					
					②食事・水分を捨ててしまう	○					
					③失禁が多く、パットを使用している				○		
					④パットを自ら外し、便器に捨てる	○					
					⑤動きが鈍く、朝いすやソファで眠ることが多い	○					
2	参加者 Bさん 一般市民	60	男	5	①昼夜問わず横になっても突然起きだし、熟睡ができない		○				
					②イライラしていて怒りっぽくなっている	○					
					③排尿も座位で行っていたが素直に座らなくなった	○					
					④家中の何から何まで持ち歩き、疲れている様子	○					
					⑤午後3時ごろになると家にいても帰宅願望が強くなる		○				
3	参加者 Cさん 施設職員	66	女	2	①食事後の「ご飯を食べていない」ということがある	○					
					②夜間排せつの仕方がわからなくなる時がある。失禁が多い。		○				
					③床への放尿がある	○					
					④大きな声を出したり、暴言(入居者、職員に対して)がある	○					
					⑤夜間眠れない事が多い(週3~4回)		○				
4	参加者 Dさん 施設職員	81	女	3	①尿意・便意がなくなってきており、失敗が多い			○			
					②食事の際、主菜にほとんど手を付けず残す	○					
5	参加者 Eさん 施設職員	90	女	要介護 3	①ホール着席時、特に食事時の発語が立て続けにあり、食事が進まない					○	
					②「猫ぼってけ」など幻視が見られる			○			
合計						11	4	2	1	1	